

千葉県 千松 街 子育てしやすい

23駅全てに保育施設

千葉県松戸市（本郷谷健次市長）は、市内23駅全てに駅前・駅ナカ小規模保育施設を設置し、働く親も幼稚園を選べる「松戸方式」と呼ばれる子育て支援策を進めている。その取り組みは、日本経済新聞社と子育て家庭向け情報サイト「日経DUAL」が行った「共働き子育てしやすい街ランキング2019・全国編（東京除く）」で、17年に続き1位になるなど評価されている。5年連続で待機児童ゼロを達成した本郷谷市長に松戸方式への思いを聞いた。（井口拓治）

松戸市は2015年、コストも低い小規模の子ども・子育て支援新制度の開始を受け、「子ども総合計画」を策定。この5年間、松戸方式による子育て支援策に力を入れてきた。松戸方式の柱の一つが、0～2歳児は小規模保育施設を増やし、3～5歳児は幼稚園での預かり保育を充実する保育需要対策だ。整備期間は約3カ月と短

く、コストも低い小規模の子ども・子育て支援新制度の開始を受け、松戸方式による子育て支援策に力を入れてきた。松戸方式の柱の一つが、0～2歳児は小規模保育施設を増やし、3～5歳児は幼稚園での預かり保育を充実する保育需要対策だ。整備期間は約3カ月と短

5年連続で待機児童ゼロ



市内23駅全部に設置された小規模保育施設（八柱ステーションルーム）

く、コストも低い小規模の子ども・子育て支援新制度の開始を受け、松戸方式による子育て支援策に力を入れてきた。松戸方式の柱の一つが、0～2歳児は小規模保育施設を増やし、3～5歳児は幼稚園での預かり保育を充実する保育需要対策だ。整備期間は約3カ月と短

幼保の協力関係を築き 幼稚園預かり保育推進

広場・子育て支援センター（26カ所）など支援策は多岐にわたる。一方、松戸方式を支える保育士確保対策も推進。新卒から11年までの保育士に月額4万5000円～7万8000円を支給する賃金00円を支給する賃金加算制度や家賃補助制度など市独自の取り組みも充実している。

本郷谷市長に聞く



◆松戸方式の狙いは？
子育て支援策は多岐にわたり、全てうまくいかなないと社会は変わりません。目標は子育てを社会全体で担うことです。それには保育・教育が大切です。保育・教育には、保育所と幼稚園という社会資源があります。今は保育需要が過大ですが、保育所をつくれれば幼稚園の定員割れはさきに進みます。だから0～2歳児は小規模保育施設を増やし、3～5歳児は幼稚園を選べるようにしました。

◆松戸方式の効果は？
20年度一般会計当初予算は1551億6000万円です。主に子育て支援事業を計上する児童福祉費は約336億円。この5年間で約19%増えましたが、その伸び率は近隣市に比べ高くありません。本当に必要なところに予算をかけるようにしています。

◆松戸方式の狙いは？
子育て支援策は多岐にわたり、全てうまくいかなないと社会は変わりません。目標は子育てを社会全体で担うことです。それには保育・教育が大切です。保育・教育には、保育所と幼稚園という社会資源があります。今は保育需要が過大ですが、保育所をつくれれば幼稚園の定員割れはさきに進みます。だから0～2歳児は小規模保育施設を増やし、3～5歳児は幼稚園を選べるようにしました。